

『八月の銀の雪』 新潮社 伊与原 新／著

八月に入り、就職活動がうまくいかず苦しむ学生・堀川は、行きつけのコンビニで外国人の女店員にも苛(いら)立っていた。ある日、探し物をきっかけに彼女の意外な一面を知ると同時に、生活しているだけでは分かるはずもない地球の秘密を知ることになる。



表題作をはじめ、子育てに追われるシングルマザー、定年を前に退職した原発関連の職員などが描かれている短編集。いずれも実在する地名が登場し親しみが湧く。著者の作品は、自然界を題材にしたものが多く、本作は思いがけない出会いによって救われ、人生の希望を見出だすきっかけをくれる。